吹田民主商工会
いんふぉめ～しょん

吹田市川園町20－1
TEL（06）6383－2211
FAX（06）6382－8190
http://www.suita-minsyou.com
main@suita-minsyou.com

第41回よっといで祭

9月14日に千里南公園で第41回よっといで祭が開催され、多くの市民でにぎわいました。公園メインステージでは吹田で活動するグループの演奏やダンスは発表される「なんでもパフォーマンス」が、ステージ広場の周辺にはキッチンカー、公園円形広場では市内で活動する団体による模擬店や展示、個人のフリーマーケットが出店。民商は業者のひろばとして模擬店を行いました。は恒例となった綿菓子体験コーナーでは、子どもが懸命に綿菓子をつくる様子を多くのパパやママが写真や動画に収めていました。フォレストリバーの皆さんによる自社製品販売とくじ引き、ジュエルネイルのデコアクセサリーづくりも子ども達に好評でした。

倉敷民商裁判
「潮目が変わった」

9月11日に倉敷民商3人の無罪を勝ち取る大阪の会の第10回総会が大商連会館で行われました。吹田民商からは役員3名が参加しました。弁護団事務局長の岡邑祐樹弁護士の特別講演「禰屋裁判の現状と今後の展望」がありました。検察はこれまでの立証が不十分な点が浮き彫りになり、検察は当初15分しか予定していなかった重要証人への尋問時間を大幅に拡大しようとしたが、弁護団は強く抵抗し裁判所は検察の申請を認めず異議申し立ても却下しました。岡邑さんはこの異例の展開で「潮目が変わった」と評しています。さらに膨大な伝聞証拠を追加し立証を試みました が、弁護団は検察の準備の遅れに対して強い姿勢を示しました。裁判所は検察に意見書の提出期限を設けたと報告されました。特別ゲストとして当事者の禰屋町子さんからも挨拶があり、支援を訴えられました。この事件は民商運動や納税者の権利への攻撃であるとして、国民救援会をはじめとする民主団体が共闘し、多くの弁護士が労力を費やしています。ともに要請はがきや署名を通じて支援を強めましょう。

施策要望活動を交流

第23回中小商工業全国交流研究集会が終了しました。後半の12日から14日のでは8つの分科会やパネルディスカッションが開催されました。13日には「自治体行政と施策の活用」が開かれ、171人が参加した。自治体への施策提案や実現、活用の経験を共有しました。

助言者として日本自治体労働組合総連合中央執行委員の内田さんが報告。自治体職員の視点から「住民の暮らしを支えるためには商工業者との信頼関係が不可欠」と強調し、地域経済を循環させる共同の重要性を訴えました。続いて、地方創生臨時交付金の活用実態を示し、自由度の高い交付制度への改善が必要とされました。岩手県連婦人部協議会会長の佐藤さんは、中小企業の倒産増加を背景に、賃上げを直接支援する県の施策を紹介。広島県の三好民商事務局長の佐久田さんは、住宅リフォーム助成や物価高騰対策支援金など自治体との粘り強い交渉の成果を報告。長崎県の小山恵子事務局長は、営業動向調査を基に自治体へ要望し、一人親方やフリーランスへの支援策を実現した経験を語りました。

後半では北海学園大学の大貝健二教授が「自治体と小規模事業者が地域経済の担い手として共同する意義」を解説。各地の報告を踏まえ、「実態調査を基にした施策提案こそ持続的な地域づくりにつながる」と呼びかけました。

伝言板

9月の記帳会
9月22日（月）14時00分
記帳に必要な請求書や領収書、事業経費を支払っている通帳と、ノートと筆記用具、パソコンなど持参してください。

自主申告サポーター学校
来春の確定申告に向けて開催されるオンライン連続学習会です。会員以外の方も参加可能で、民商と一緒に視聴できます。
（時間はすべて19時～）

学習会スケジュール
第1回　10月1日（水）
「不公平税制の実際と自主計算パンフの生かし方」
講師：全商連

第2回　10月8日（水）
「納税者の権利と税務調査と徴収対策」
講師：立命館大学・望月隆教授

第3回　10月15日（水）
「自主記帳・自主計算活動と3・13統一行動の発展」
「各地の実践報告」

第4回　10月22日（水）
「消費税・インボイス対策の留意点と2025年の主な変更点」
講師：税理士・関本郁子さん

第6回　11月25日（火）
「例題で学ぶ確定申告書の仕組みと税金＝所得税」
講師：全商連税対部員

第7回　11月26日（水）
「例題で学ぶ確定申告書の仕組みと税金＝消費税」
講師：全商連税対部員